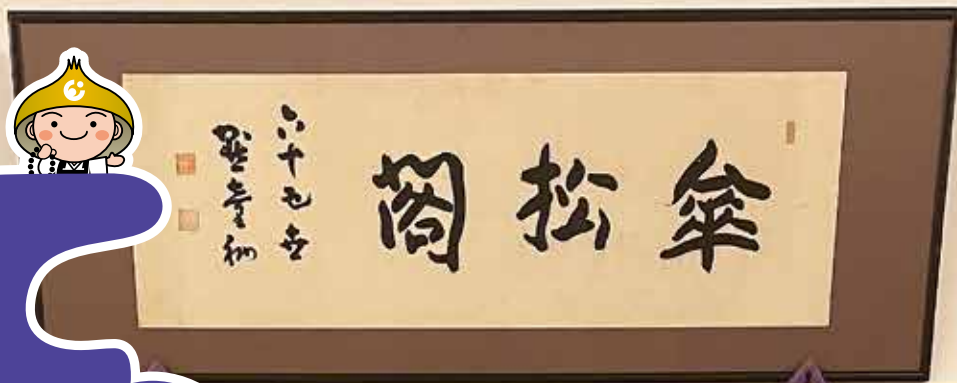


みでの

永平寺
町議会
だより



第71号 INDEX

令和5年8月4日発行

特集 移住定住・過疎問題 P2~5

そこが聞きたい!

議員12人が一般質問 P9~13

移住サポーター
山崎チャナ智美さん家族

議会だよりは
こちらからも
ご覧いただけます▶



永平寺町議会
facebook

永平寺町議会

検索



移住者交流会

移住者のコミュニティ創出

- ①地域の方と移住者の交流促進（移住から定住へ）
- ②関係人口拡大から移住促進（移住者が移住者を呼び込む）

第1回 R4年8月27日



第2回 R4年11月23日



第3回 R5年6月17日



移住のことなら、なんでもご相談ください!!

えい住支援課 伊藤さん

議会の視点



移住者と地元住民をどうやって繋げるか。移住者が移住者を呼び込むためにも、外面の魅力だけでなく中身を体験してもらえ体制づくりが必要である。

えい住支援課新設!!

令和5年度

Q 町外に居住と聞くと、他市町住民から見た永平寺町の印象は

A 九頭竜川沿いに緑豊かな自然に囲まれた町の印象ですが、自動運転など先進的な取り組みを進められています。役場に来て、福井市中心部に近いことを実感しています。

Q 県庁における主な業務は

A 県庁に土木技術職として奉職し約30年になります。本庁では都市計画、道路建設に関する業務を担当しました。（出先土木事務所では道路維持、河川・砂防・急傾斜・地すべり、ダム建設・管理など土木関係全般を担当しました）

Q 課の運営方針（取り組み）は

A 移住定住支援の取組を継続しつつ、永平寺町の「住みやすさ」を発信していく。空き家、土地の情報を収集し、所有者、関係者と協力・連携のもと情報を提供できるようにしていきます。移住されてきた方と地域の方々との交流を進めるよう取り組んでいきます。

Q 改めて意気込みなど、町民に向けたメッセージを

A 関係者や住民の皆様のご理解をいただき、連携しながら、移住定住、地域発展の拠点づくり、まちづくりを進めていきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

えい住支援課 深水課長にお聞きしました

Q&A

インタビュー! interview!!

移住サポーター 山崎チャナ智美さん



プロフィール
令和3年にUターンで19年ぶりに東京から福井へ移住

移住サポーターとは?

対面とSNSを通して永平寺町の魅力を発信。移住に関する役場担当者のサポートや、他市町の移住サポーターとの意見交換などを積極的に行っている。

Q 移住サポーターとして感じたことは。



Answer



コロナ禍を経験し「生き方」や「働き方」の捉え方が変わった方は多いと思う。移住を考えている方に寄り添い、役場職員の方々と共に少しでも移住定住が増えるよう活動していきたい。

Q 永平寺町の課題は何だと思いますか。



Answer



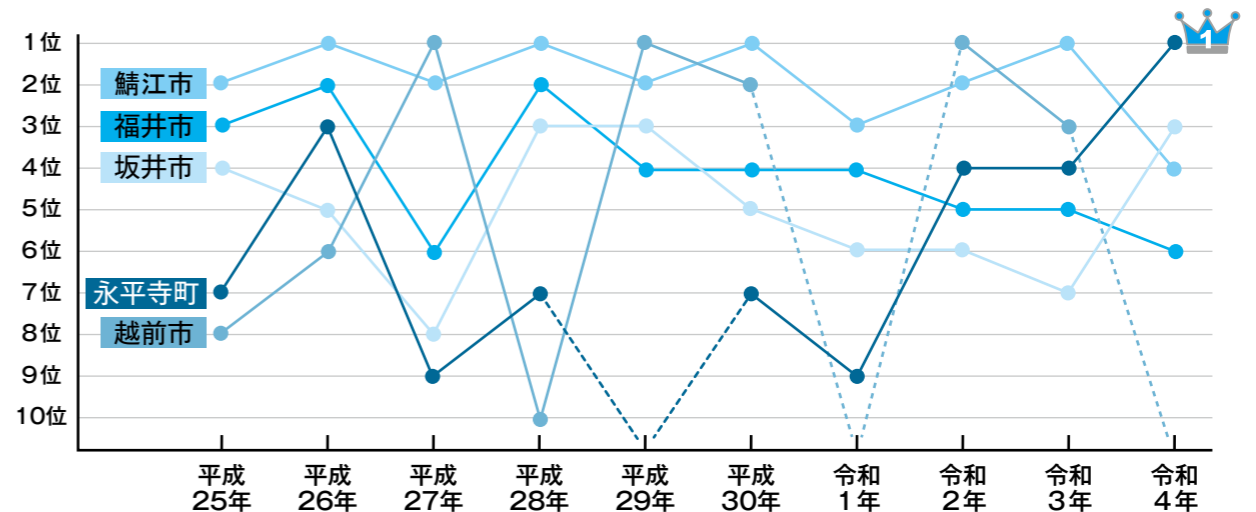
就職先と条件の良い物件。（他市町の取り組みを聞いたうえで）永平寺町移住の決断に至る強い根拠作りを、もっと戦略的に仕掛けていく必要はある。

Yamaguchi Family

石川県より永平寺地区に移住の山口さん家族。移住の決め手は自然の豊かさと、福井市中心部へのアクセスの良さ。



◆福井県市町別社会増減率の順位推移



社会増減率とは…年間転入者と年間転出者数の差÷各年10月1日現在の人口×100

選ばれる町になってきた永平寺町!!

◆人口推移と過疎状況（上志比地区が長期要件2に該当し、過疎地域に認定）

旧町村名	基準年			令和2年		長期要件1		長期要件2		中期要件	財政力指数 H30~R2 0.51 (0.64)
	昭和55年	平成7年	令和2年	高齢者 65歳以上	若年者 15~29歳	人口増減率 S55~R2(40年) -30%以上	人口増減率 S55~R2(40年) -25%以上	高齢者比率 R2 38%以上	若年者比率 R2 11%以下	人口増減率 H7~R2(25年) -23%以上	
	①	②	③	④	⑤	⑥=(③-①)/①	⑦=(③-①)/①	⑧=(⑤/③)	⑨=(③-②)/②		
旧松岡町	9,434	10,184	10,927	2,689	2,293	16%	16%	25%	21%	7%	0.39
旧永平寺町	6,468	6,345	5,266	1,827	737	-19%	-19%	35%	14%	-17%	
旧上志比村	3,765	3,654	2,772	1,124	304	-26%	-26%	41%	11%	-24%	

長期要件1… 30%以上の場合は、長期要件2、中期要件は問わない。加えて財政力指数が0.51以下の場合は過疎地域指定。
 長期要件2… 長期要件2の⑥が25%以上、加えて⑦もしくは⑧のいずれかが基準を上回った場合（※2項目該当すること）。
 加えて財政力指数が0.51以下の場合は過疎地域指定。
 中期要件… 23%以上の場合は、長期要件1、長期要件2は問わない。加えて財政力指数が0.51以下の場合は過疎地域指定。
 財政力指数… 長期要件1、長期要件2、中期要件が基準以下の場合は、財政力指数が下回っても対象外。

議員全員に問う！ これからの地域づくりの鍵は？

酒井圭治議員
調和と連携
住民参加の町づくりで幸福を実感できる生き生きとした町に！

川崎直文議員
連携と協働
地域の一人一人が役割を持ち、前向きに取り組む、やりがいを感じ活動。

長岡千恵子議員
移住者の発想
これからのまちづくりには既存概念にとらわれず、新鮮な発想で。

朝井征一郎議員
町民声を生かせ
町と地元の人達や関係団体等が連携し、活性化や新たな町づくりを図ってほしい。

清水紀人議員
人口減少社会
安心して働ける環境づくりと、現状や課題を知り効率的な対策を考える。

森山 充議員
目的を明確に
「施設整備→目的の明確化」から「目的の明確化→施設整備」への転換。

金元直栄議員
こつこつ積上げ
信じた道を伝え広げ、共に創る。一歩ずつの前進だ！

清水憲一議員
君達が主役
将来の町づくりは若者の行動に掛かっています。君達の手で次の時代を。

滝波登喜男議員
まちへの愛着
今いる町民にまちへの愛着をもっと持ってもらう、住み続けてもらうこと。

上田 誠議員
子育て・教育
持続可能な地域は全世代形の暮らしと経済循環サイクル社会の実現で。

斎藤則男議員
発想の転換
多様な主体が協働していく地域の仕組みづくりや、将来を見据えた人材の育成が必要。

松川正樹議員
正しく考える
議会人として、ただひたすら、正義と倫理を模索し、正義の言葉を放つ。

楠 圭介議員
核になる人材
変化を求められる今、火種となる次世代リーダーの出現は必須。

中村勘太郎議員
温故知新
全てを新しく変えるのではなく、それぞれの地域の特徴と共に育む。

R5年2月19日
永平寺町地域づくり講座
これからの地域づくりのあり方 ~地域がつながるからできること~
講師：仁愛短期大学名誉教授 内山 秀樹 氏
地域崩壊の背景と要因



- 地域づくりの既存団体紹介
- 志比北振興連絡協議会（平成6年～）
 - 御殿振興連絡協議会（平成元年～）
 - 志比南振興連絡協議会（令和5年～）
 - 上志比地区振興連絡協議会（平成24年～）
 - 吉野地区振興連絡協議会（平成4年～）
 - 四地区連絡協議会（令和2年～）

議会の視点
地域振興のプレイヤーは町役場ではなくなってきている。住民主体の地域振興を目指すうえで新たなプレイヤーとは？1～2年ごとに交代する区長では荷が重いのでは。

pickup事業!!
住民発信の取り組み
100プロ 地域の児童数を100人に！

◎国勢調査人口
昭和55年 23,743人 平成12年 21,929人
平成22年 19,969人 令和2年 17,763人

◎高齢者、若者比率（令和2年）
高齢者比率 39.12% 若者比率 12.66%

◎概要
平成30年に新庄小学校の保護者の3人が、このままでは小学校の児童数が減少し、3年後には全ての学級が複式になるという状況を防ぐため、10年後の児童数を100人に増やすことを目的に立ち上げたのが本団体である。

◎受賞の評価ポイント
現在では地域の住民だけでなく、移住者や中高生を含む約60人のメンバーが参加しており、子育て世代をはじめ若者の移住定住を増やすための活動を行っている。無理なく続けるために「この指とまれ」方式を採用し、活動開始10年である2028年を一区切りと一定の期間を見据えている点も集中して活動出ているポイントとなっている。

令和5年6月一般会計補正予算に対する主な意見（歳出補正予算計11,622万円）

担い手育成事業
200万円増額し
9,521万円

議会の意見：まだ要望もあるのでさらなる事業の推進を

役場のねらい：農業機械の整備更新に使います

巷の声：農業の振興に役立ちそうです

旭ヶ丘台地体育施設管理費
447万円増額し
1,378万円

議会の意見：修繕後も大切に使用してほしい

役場のねらい：上志比グランド施設の修繕を行います

巷の声：使う頻度が増えそうです

地域おこし協力隊 会計年度任用職員給
250万円増額し
814万円

議会の意見：計画的な採用を

役場のねらい：5月から1名採用します

巷の声：今までの事業の成果を示してほしい

価格高騰 緊急支援給付金支給事業
3,990万円増額し
3,990万円

議会の意見：素早い支給を心がけてほしい

役場のねらい：住民税非課税世帯向けに実施します

巷の声：生活費の高騰が続いているためありがたい

令和5年度 第5回定例会報告

令和5年第5回臨時会は、5月29日（月）から6月14日（水）に開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

第5回定例会議案			
報告第1号 令和4年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について 担い手育成事業等の15事業、3億1,584万3,000円	報告	議案第40号 税条例の一部を改正する条例の制定について 扶養親族等申告書の記載事項の簡素化等を改正	可決
報告第2号 令和4年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について 中山間地域総合整備事業 115万8,000円	報告	議案第41号 上水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について 給水人口、1日最大給水量を改正	可決
報告第3号 令和4年度町立在宅訪問診療所特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について 施設管理費 210万円	報告	議案第42号 松岡福祉総合センター屋根改修工事請負契約締結について 請負金額 8,574万5,000円 請負業者 株式会社 竹野組	可決
報告第4号 令和4年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について 特定環境保全下水道建設費 2億1,693万2,000円	報告	議案第43号 高規格救急車の取得について 取得金額 3,146万円 購入先 福井トヨタ自動車株式会社	可決
報告第5号 令和4年度農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について 一般管理費 79万9,000円	報告	請願第1号 所得税法56条の廃止を求める意見書採択のお願い	不採択
議案第36号 令和5年度一般会計補正予算について 1億1,622万6,000円増額 価格高騰緊急支援給付金支給事業等	可決	請願第2号 保育士配置の最低基準の引き上げと、保育予算の大幅な増額を求める意見書の採択を求める請願	可決
議案第37号 令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算について 6万2,000円増額 マイナンバーカードと健康保険証一体化の趣旨普及費等	可決	請願第4号 日本政府に「核兵器禁止条約」への参加・署名・批准を求める意見書の提出に関する請願書	不採択
議案第38号 令和5年度上水道事業会計補正予算について 1,084万6,000円増額 東部取水井さく井工事詳細設計業務	可決	発委第3号 保育士配置の最低基準の引き上げと、保育予算の大幅な増額を求める意見書の提出について	可決
議案第39号 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について 人事院規則の改正による所要の改正	可決		

議案への賛否一覧 議席順に掲載（賛 賛成 反 反対 一欠席 □退席 棄 棄権）※議長（中村勘太郎）は採決に加わりません

	酒井	長岡	川崎	朝井	清水紀	金元	森山	清水憲	滝波	齋藤	上田	松川	楠
請願第1号	反	賛	反	反	反	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	反
請願第4号	反	賛	反	反	反	賛	反	反	賛	反	賛	賛	反

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等13件については全員賛成です。

令和5年度 第3回臨時会報告

令和5年第3回臨時会は、4月26日（水）に開催されました。審議された内容は次のとおりです。

第3回臨時会議案			
承認第3号 令和4年度一般会計補正予算の専決処分承認について 8,146万9,000円減額 価格高騰緊急支援給付金支給事業等	承認	承認第8号 令和5年度上水道事業会計補正予算の専決処分承認について 360万8,000円増額 取水設備改良費	承認
承認第4号 令和4年度介護保険特別会計補正予算の専決処分承認について 5,557万7,000円減額 特定入所者介護サービス費等	承認	承認第9号 税条例の一部を改正する条例の専決処分承認について 軽自動車税における特例措置の改正等による改正	承認
承認第5号 令和4年度下水道事業特別会計補正予算の専決処分承認について 548万円減額 公共マス設置工事等	承認	承認第10号 国民健康保険例の一部を改正する条例の専決処分承認について 低所得者層を対象とする税軽減の拡充等	承認
承認第6号 令和4年度農業集落排水事業特別会計補正予算の専決処分承認について 97万1,000円減額 消費税納入金	承認	承認第11号 損害賠償の額を定めることの専決処分承認について 損害賠償の額 19,230円 事故の種別 物損事故	承認
承認第7号 令和5年度一般会計補正予算の専決処分承認について 205万2,000円増額 学校給食調理員派遣業務委託料	承認	議案第34号 令和5年度一般会計補正予算について 1,890万7,000円増額 保育園運営諸経費の一時預かり委託料等	可決

議案への賛否一覧 議席順に掲載（賛 賛成 反 反対 一欠席 □退席 棄 棄権）※議長（中村勘太郎）は採決に加わりません

	酒井	長岡	川崎	朝井	清水紀	金元	森山	清水憲	滝波	齋藤	上田	松川	楠
承認第9号	賛	賛	賛	賛	賛	棄	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
承認第10号	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等8件については全員賛成です。

令和5年度 第4回臨時会報告

令和5年第4回臨時会は、5月17日（水）に開催されました。審議された内容は次のとおりです。

第4回臨時会議案

議案第35号 副町長の選任同意について	同意
------------------------	----

議案への賛否一覧 議席順に掲載（賛 賛成 反 反対 一欠席 □退席 棄 棄権）※議長（中村勘太郎）は採決に加わりません

	酒井	長岡	川崎	朝井	清水紀	金元	森山	清水憲	滝波	齋藤	上田	松川	楠
議案第35号	賛	賛	賛	賛	賛	□	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

議案への賛成反対討論

承認第9号 税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について

反対討論
金元 直栄

働く人々の実質賃金が下がり続けている中、異常な物価高が続き、人々の生活が大変な中、それらへの対策としての税制が見られないことから反対する。

請願第1号 所得税法第56条の廃止を求める意見書採択のお願い

反対討論

川崎 直文

所得税法第56条は、事業から受けた家族従業員がいる場合の必要経費の取り扱いについて規定し、家族間で所得を分離し、不当に課税を逃れる租税回避的な行為を防止する趣旨の条項である。法が制定された当時と比べ社会も大きく変化してきており、時代に即した概念のもと、廃止ではなく見直しが必要である。不採択とする。

賛成討論

長岡千恵子

白色申告をしている小規模の自営業者にとって家族は重要な労働力である。家族労働の主な担い手は妻である。妻の労働に対して対価を認めないのは女性蔑視と考える。妻である女性の労働に正当な対価を認めるべきである。女性の立場で原案に賛成する。

反対討論

清水 紀人

第56条廃止による抜け道の心配もある。青色申告のほうが所得控除も大きいほか、家族従業員の給与額の制限もない。青色での申告方法があり、原案に反対する。

賛成討論

上田 誠

この税法は「個人事業者と生計を共にする配偶者や家族が事業から受け取る報酬を事業の必要経費と認めない」という規定で、配偶者や家族の働き分を事業主の所得に合算することを押し付ける法だ。男女格差の助長する女性の無償労働の解消と憲法下の両性の平等に反するもの。現在566自治体、税理士会、日弁連も廃止を求めている。

賛成討論

金元 直栄

この56条の見直しについては、政府も与党も見直す必要があるとしているが、長く放置している。白色申告では家族労働、その多くが女性だが、その労働を認めないというのは、まさに女性差別が法の中で示しているもので、専従労働として認めない条項は廃止すべきだ。

請願第4号 日本政府に「核兵器禁止条約」への参加・署名・批准を求める意見書の提出に関する請願書

反対討論

清水 紀人

日本政府はこれまでも国際情勢安定のために役目を果たしている。核兵器禁止条約を推進することで核の廃絶に繋がらないという考えから、原案に反対する。

賛成討論

長岡千恵子

日本是世界で唯一の核兵器の被爆国である。被爆時から78年が経過し、その当時の悲惨な状況を知る人も少なくなっているが、将来にわたり語り継ぐことが大切である。世界に対し、語り続けるためにも、「核兵器禁止条約」への参加、署名、批准することは当然と考え、原案に賛成する。

賛成討論

上田 誠

現在ウクライナに対しロシアの侵略が続く戦下の中、ペラルーシへの核配備など核兵器使用が危惧されている。私たちは世界でただ一つの被爆国であり全世界に向けて戦争でなく平和を求め核による破滅でなく核兵器の廃絶を求めるべき。現在92カ国が署名、68カ国が批准している。わが国も被爆者の声に答えるため、率先して参加、署名、批准すべき。

賛成討論

金元 直栄

ウクライナへのロシアの侵略の中で、プーチンは戦略核兵器の使用を匂わせている。戦略核兵器の中には地上や家中、地下に居ようと生き物だけを殺す核兵器もある。だからこそ、唯一の被爆国の日本がすぐに核兵器廃止を求め、署名・批准には大きな意義がある。だから賛成だ。

問
答

6月定例会

そこが聞きたい!

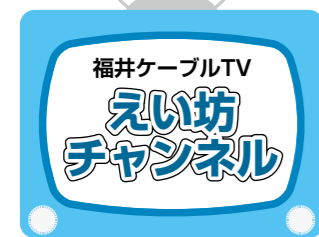
一般質問という名の政策提案

12名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

【一般質問：目次】

森山 充 10P	酒井 圭治 10P	松川 正樹 10P	長岡千恵子 11P
清水 憲一 11P	朝井征一郎 11P	清水 紀人 12P	上田 誠 12P
川崎 直文 12P	齋藤 則男 13P	金元 直栄 13P	滝波登喜男 13P

6月議会 再放送日程



8月1日(火)～8月10日(木)
ごろまで毎日放送
毎朝6:00～ 夜24:00～

約2時間番組

令和5年6月定例議会のケーブルテレビでの再放送日程は、8月1日(火)から8月10日(木)頃まで、毎日朝6時からの2時間と24時からの2時間、同一内容を放送致します。放送内容は会議日程の順番に沿って毎日変わります。議会生中継をご覧になれなかった方、興味のある方は是非ご覧ください。

次回定例会は

8月28日(月)
開催予定

議場で傍聴できます。ぜひお越しください!

役場本庁舎3階までお上がりください。
エレベーターもごさいます。事前申込不要!



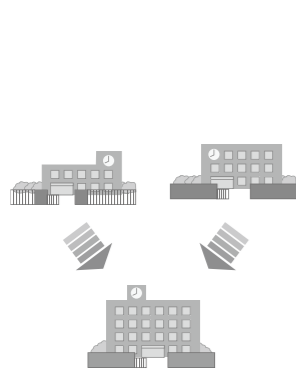
議会HP



問 学校統合準備委員会の位置づけは

答 町の一大事業

長岡 千恵子議員



問 学校の統廃合は町の重要事業と考える。令和5年度の当初予算や主要事業に記載が無かったが。教育長 学校再編は町の一大事業と位置付けるとともに重要性を十分認識している。学校教育課長 予算を要求する時期に統合についての方向性が確定していなかったため記載はない。

問 確定していなくても事業を進めようとしている時には、当初予算や主要事業に記載するのは普通だと思つた。町長 議会とのやり取りをしている中で、行政がいきなり議会を無視して予算を組むということは議会軽視に繋がる。問 当初予算にも6月補正予算にも計上が無く、事業が進められることが腑に落ちないので、説明を。教育長 準備委員会の委員の方の了承を得て報酬はない。お茶も提供しない。町長 準備委員会を作って制服やスクー

◆その他の質問...えい坊館活用についての動きは。自動走行レベル4、今後の活用は。

問 統廃合後の利活用は

答 スピード感を持って取り組む

清水 憲一議員



志比北小3階からの眺め

問 志比北小の統合に議会として賛成という判断をした。しかしながら統合後の志比北小 跡地の利活用、志比北地区の地域振興策に具体策がない。スピード感がない。次々と策を出していけば安心感、期待感も高まってくる。総合政策課長 振興策を検討する委員会を年度内に立ち上げたい。町長 できるだけスピード感を持って振興策と話をしていきたい。いくつかの案の中でより良いものを作りたい。

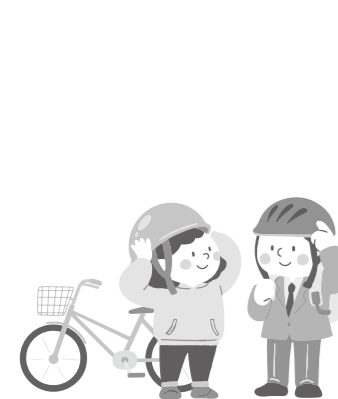
問 本定例会においてカーボンニュートラル宣言をしたが、その中身は。総合政策課長 太陽光、バイオマス発電の活用。公共交通利用の促進、次世代自動車、充電器の整備、森林の保全などを行う。

◆その他の質問...上志比地区振興策。消防団など加入者増策は。

問 町の観光戦略は

答 大本山永平寺を核とした観光情報発信

朝井 征一郎議員



問 4月に改正道路交通法が施行され、全ての自転車利用にヘルメット着用が努力義務となり、ヘルメットを購入する費用を補助する自治体がある。本町においても、補助出来ないか。防災安全課長 町では、ヘルメットの補助は行っていない。県下の補助状況などを確認、調査して、検討していきたい。問 町の観光戦略、1年後にせまった新幹線開業、3年後の中部縦貫自動車道開通に向けて、町を代表する大本山永平寺の観光誘致は核である。自然豊かな永平寺を県内外に、友人、知人に自信をもって発信する事が永平寺観光誘致ではないか。商工観光課長 大本山永平寺の禅を核として、町を訪れた方に新しい町の魅力を楽しんでいただけるよう、観光案内所やえい坊館、道の駅禅の里といった観光情報発信の拠点をハブとして、町内の次の観光地につなげられるよう、これらの施設機能の強化を図って滞在型観光を進めている。



問 杉本県政に期待すること

答 本町の現場を見て一緒に議論

森山 充議員



問 4月の統一地方選の結果2期目の杉本県政がスタートしたが、1期目の県政に対する評価と今後期待することは何か。町長 一緒に仕事をしてきた中でスピード感があった。また、現場をしつかり見ていただいたという実感もあり、県と話をするときも建設的な議論ができた。今後は本町との連携が引き続き求められたい。また、新幹線開業に向けた攻めの施策も期待している。問 町内に敷地を持つ県関係機関がいくつかあると思うが、連携実績と評価、今後の方向性は。総合政策課長 県立大学と包括的連携に関する協定を締結している。成果物としては「とこのうまち永平寺町」と名付けたガイドブックを作成し、町のPRに使用している。今後も連携を図るほか若者と学生のまちづくりの支援を進める。

問 医療体制の課題はどのように考えているか。問 福祉保健課長 医療体制は福井県の地域医療構想の4つの医療圏のうち福井・坂井医療圏に設定され、慢性疾患が増加傾向にある。大きな病院があることから患者が大きな病院に集中することのないよう先ずはかかりつけ医を持ち、必要に応じて専門的、高度医療を受けられるような体制づくり、意識の啓発を行ってきたい。問 地域医療の進捗と地域包括ケアシステムは。福祉保健課長 感染症対策、病院と診療所の連携など公立、民間の医療機関も含めて調整、協議を行っている。本町の地域包括システムでは、ご自宅での生活支援サービスの充実に取り組んでいる。民生委員等による見守り活動、これをはじめ在宅福祉サービス事業での外出支援、配食サービスなどがある。問 これからの町立在宅訪問診療所について。町長 今年度からみなし訪問看護も診療所に開設、引き続き少子高齢社会に向けてしっかりと取り組む。

問 地域医療体制の課題は

答 将来に向けしっかりと取り組む

酒井 圭治議員



問 小中高の教科内容接続性ない

答 生活面でも接続性が必要

松川 正樹議員



問 学校の授業。幼小中高大の教科内容の接続性をより分かりやすくすべきと以前から感じていた。幼小中高大へと進む時、なだらかな坂を上るように徐々にレベルアップしていけばいいのだが、移行の時、ボンと飛び感じで上がっていく。急な坂ならまだいいが、壁のように立ちついている。気がついていないが、先生方はカリキュラムまでいじれない。先生方が授業に創意工夫をしてくれるしかない。教育委員会はどうか対応しているか。教育長 学習面だけでなく生活面も接続性は必要。町内では幼小中の先生方を対象に授業研究会を始め交流を行っている。中高の対応策は高校の探求型学習を町内の中学校でも取り入れている。高校との連携も図っている。問 高志中学校では、一種の中高一貫を先進的に行っている。このことは普通の公立中学校に比べて不公平。高志中学校の取り組みに我々の学校も近づけるべき。教育長 長期休暇中に3中学校区で教科に関する情報交換などを開催し、接続性の強化を図っている。



◆その他の質問...映画制作の真の狙いは。マンホール蓋の町おこし活用。上志比の過疎からの脱却準備は。新幹線が福井にやってくる。



問 上志比地区の振興を望む

答 地域の声を大切に取る

齋藤 則男議員



◆その他の質問…上志比地区のプールの存続を。

問 これ以上の人口増は望まないが、現状を維持するための施策を望む。今が大変な時期。地域からの声を待つのではなく、町が前面に出て地域の声を聞き出すとともに、積極的な行政主導による施策を期待する。

総合政策課長 地域振興については地域住民のご理解、ご協力、協働によって行われる。上志比地区振興会や地域の住民との意見交換会を行い、まちづくりのニーズの把握に努めていくことが必要。

町長 人口対策、多方面の視点で考えなければいけないところがあり、いろいろな人に来てもらう、住んでもらう、また今住んでいる人の生活を維持していく。新たな核となる各種拠点を整備して人の流れをつくっていく。この3つをバランスよくやっていくことが大事だと思



問 レベル4自動運転移動サービスは

答 観光資源で活用

清水 紀人議員

問 第二創業を目指す方に補助制度を創れないか。

町長 商工会会員の第二創業を考えている企業があるのか、分析し検討していきたい。



問 荒谷停留所から志比口の運行は。総合政策課長 交差点も多く実用化が難しい。

問 志比停留所から本山入口まで延ばす計画は。総合政策課長 現時点での具体的な計画はない。ただ門前への観光客が増える見込みがある。駐車場から本山までの足としての利用、また乗車体験そのものを観光資源で活用していくことは考えられる。

問 商業の振興について。町長 商業の振興について物価上昇、光熱費の高止まりに対する支援の考えはあるか。

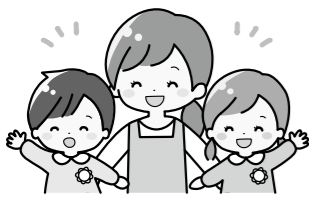
町長 商工会と会員皆様にアンケートの調査を行い、どこで困っているのか、どのよう支援が必要か聞き取りをしている。町の支援策を検討していきたいと考える。



問 保育士の配置見直しは

答 国の見直し後、県指導の下対応

金元 直栄議員



問 保育士の配置基準の一部は、75年前に定められた時のままで。今回、国は基準の見直しではなく、一部加配に支援するとして、本町での対応はどうか。

子育て支援課長 国が配置基準の見直しを行うことは承知している。本町では国の基準より若干余裕のある配置となっている。国が見直した場合、県の指導のもと、町も対応していく。

本町の国保税、県内で一番高い

問 本町の国民健康保険税は県内でも高い。町の支援で安くすべきではないか。

住民税務課長 令和3年度1人当たり約11万3000円と県下で2番目に高くなっている。現在、町で独自の軽減策は考えてはいない。

本町の都市計画のあり方

問 1つの町に3つの都市計画、それも福井都市計画区域では、町独自の開発もままならない。異常ではないか。

えい住支援課長 町として一体的な町づくりを進める上では、3つの都市計画区域を一つにまとめる方が良いと思う。



問 再編見直し要望書の扱いは大変重い

答 真摯に受け止め進めている

上田 誠議員



問 志比北小校下の栃原区より正式に再編見直しの要望書が出された。内容は見直しにあたって①児童数減少対策②幼稚園の0歳保育等環境整備③人口減対策の振興策の要望(住民の声)であり大変に重く今の進め方に再考を促すもの。現在の進め方は区からの正式な住民の声に逆行であり立ち止まる必要がある。

町長 諮問委員会の答申を受け素案に対して議会の見解を得、保護者、住民の意見を聞き柔軟に対応してきた。

問 保護者に11月11日初めて素案を示し30日に可否を求め、結果的に12月15日に結論を出す形で。出席者21名の住民説明会で地区の重大案件を進めるのは問題ではないか。

町長 保護者会の結論と意見交換を踏まえた回答を得、本日に辛いこともあるが意見を賜って進めている。



◆その他の質問…子育て支援の町から子どもを核としたまちづくりへ。鳴鹿の山麓に現れた太陽光発電は住民の心配ごと。

問 栃原地区の要望書は重いもの

答 議会の取り扱いも尊重

滝波 登喜男議員



問 栃原地区から「志比北小統廃合問題再考のお願い」という請願書が議会に、同内容の要望書が町に提出された。地域から小学校がなくなることに将来不安を感じている。統合準備会を中断し、その内容に丁寧に対応すべきでは。

町長 職員を集めて要望への回答を協議している。議会の請願書に対する取り扱いも尊重する。

教育長 統合準備会は予定通り進めている。

人口増はまちへの愛着が鍵

問 20代〜40代の町民の転出を止めることが人口増につながる。町民に選ばれる町、住み続けてもらう町、まさに愛着を持ってもらうことが大事。先進地ではこの愛着という曖昧な気持ちを客観的に定量化するM-GAPという方法を導入している。また、鯖江市では以前よりJK課を設け、女子高生がまちづくりに携わり、愛着を持ってもらう取り組みをしている。

えい住支援課長 転出者は20代2847人、30代1296人で全体の65.6%となっている。町では、道路網の整備、定期券補助、お買い物ポイントなどを行っている。



問 風景まちづくりの推進は

答 研究会、組織と連携で

川崎 直文議員



問 町景観基本計画の風景まちづくりに5つの拠点のリーディングプロジェクトの取り組みがある。他のまちづくり計画との連携、推進体制は。

えい住支援課長 都市計画マスタープランの地区別まちづくり構想図にリーディングプロジェクトを記載し、両計画の関連性を明確にする。

リーディングプロジェクト毎に、議員、役場の職員で構成する町まちづくり研究会、自治会や振興会の活動組織と連携し取り組む。

5つの拠点のリーディングプロジェクト

1. 体感できる禅、スピリチュアル・ランドスケープの『大本山永平寺』
2. 藩政時代を偲ぶ城下町と旧街道の『松岡十二曲がり』
3. 浄法寺山を背に九頭竜川を望む新たな産業交流拠点の『九頭竜川志比北リバーサイド』
4. 温泉や道の駅を活かした町民の憩いとレクリエーションエリアの『上志比タウン』
5. 田園豊かで若者が集う学園拠点の『県大永平寺キャンパス』



議員のなり手不足を解消するには

議行改 会政革
特別委員会

何を変えれば議会存続する

- 1 議員報酬
原価方式の報酬額を基準にし、県内市町と比較をして委員長案を提出し協議した。約1年間をかけて成立することを確認した。
- 2 政務活動費
当議会は、先進地視察のための特別旅費を設けているので、政務活動費の用途を制限すること。また、透明性確保のため他市町の状況を調査する。
- 3 議会モニター制度
北海道浦幌町議会を参考に叩き台を作った。先進地をより調査する。
- 4 若者・女性・後継者
加賀市議会が「子ども議会」「高校生議会」「女性議会」「おでかけ教室」など積極的に活動している。視察をし、学ぶことを決めた。

議会の視点



議員のなり手不足が全国的に問題視されている。議員のなり手不足を解消するために議会をどう変えるかが問われています。

地域集落から請願書提出

学再校 校編討
特別委員会

取扱いについて慎重に

請願の取り扱いについて協議

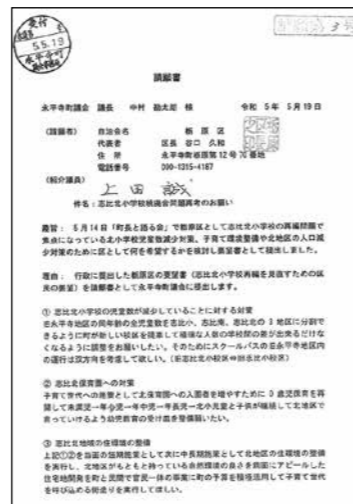
- ・すでに統合については決定し、準備委員会も発足しているの
 - ・地域住民からの請願である住民の意見には真摯に取り扱うべき
- 採決 不採択7名 採択6名 不採択に決定した。**

その後もう一度委員会を開催。

- ・住民からの請願は大変重いという判断から
- ・提出者の生の声を聞かないといけない

前回の採決結果を白紙に戻し、継続審査とした。

今後は住民との意見交換を行う



議会の視点



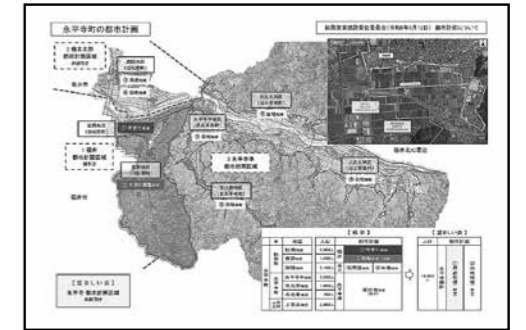
地域から請願書が提出されたことを受けて地域の声を行政に充分伝えることが大切と考えます。

都市計画と地域振興を考える

総務業 務建設
常任委員会

心ふれあい人つながる「住み続けたい」緑のまち

永平寺町都市計画マスタープランは町を成長させる非常に大切なツールで、都市計画は「まちづくり」に包含されます。都市計画は「まちづくり」を実現するための手法の一つですが、現状は①福井都市計画区域②嶺北北部都市計画区域③永平寺準都市計画区域となっており、3計画の一本化が望まれている。



議会の視点



地域でどのように活用するのか検討できるように「都市計画」の秩序の中で、もっと柔軟に決定・変更が行えるよう市町村の裁量権が増えれば良いと考えます。

子ども達の「食」を守ることを考える

教民育 育生
常任委員会

給食を充実するには調理員確保が不可欠

- 1 予算計上も所信でも触れないのに、どうして学校の統廃合は進められるのか。議会軽視だ。に対し、学校教育課長は3月議会では統合の方向が決まっていなかった。その後、議会で多数決で統合を決めたことによる。また、教育長は必要なものは予算計上すると答弁。
- 2 附帯案件
請願第2号「保育士配置の最低基準の引き上げと、保育予算の大幅な増額を求める意見書の採択を求める請願」については「必要」と全員一致で採択し、本会議に提案するとした。
- 3 事務事業の調査
・公民館活動と地域づくりについて
・学校給食調理員の確保と諸課題
以上について取り組みを確認した。
- 4 年間研究テーマ
・学校再編についての方針と課題について
・町社会福祉協議会の運営について
・町立訪問診療所実施の訪問看護体制について
等を確認した。

議会の視点



恒常的に給食調理員が不足している。充実した給食を維持するには調理員の確保が不可欠と考えます。

空き家を有効利用して住みたいを叶える！

空き家を
貸したい方

空き家バンクに登録しよう！

空き家を
売りたい方



■空き家件数の推移 (単位: 件)

	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	5年間の推移
町内(区長調査)	312	320	327	362	332	333	20件増、6%増
松岡	161	175	176	188	169	172	8件増、5%増
永平寺	81	79	88	96	90	87	9件増、11%増
上志比	70	66	63	78	73	74	3件増、4%増

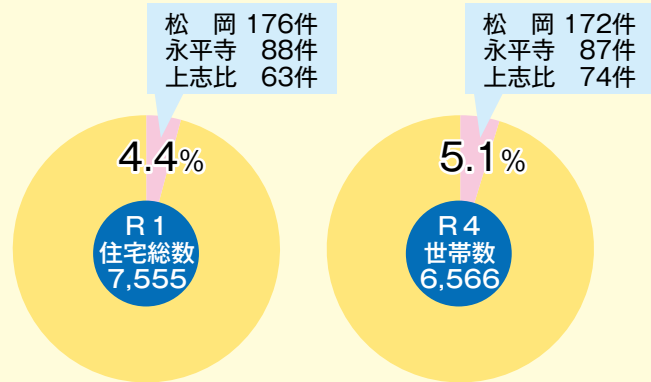
- 町全体では、空き家件数は増加傾向。毎年、数件増加。5年前と比べて20件増、6%増。
- 世帯数に対する空き家の割合は、県平均や近隣市町に比べて高い。

■空き家バンクの推移 (単位: 件)

	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
新規登録件数	8	3	3	7	9	11
成約件数	5	4	3	9	4	5
空き家解体補助件数		5	0	7	13	10

- 毎年、新規登録、成約件数とも数件で推移。5年毎の件数については、バンク周知や登録奨励金等の対策により大幅に増加。

■空き家の割合



空き家バンク 利用者の声

空き家バンクを利用したのは築65年の住宅です。最初の説明では、その手続きがすごく大変だと感じましたが、実際に手続きを進めると役場や不動産業者の方の協力ですムーズに進んでいきました。

不動産業者の方は、居住に対する要望に真摯に対応し、居住者を決定してもらえました。住居として使える住宅の有効活用であり、掃除や草取りなど管理も居住者にお願いでできるので、大変喜んでます。



長岡千恵子議員

永平寺町議会だより **みでの** 第71号

<https://www.eiheiji-gikai.jp/>

発行 永平寺町議会 編集 議会広報特別委員会

議会日程や議事録が閲覧できます。

議会広報特別委員会

- 委員長 川崎 直文 副委員長 長岡 千恵子
委員 酒井 圭治 森山 充 滝波 登喜男
松川 正樹 楠 圭介

発行責任者

議長 中村 勘太郎



議会活動レポートHPです。議会のいろいろな活動が見られます。



議員のなり手不足解消向け、報酬などの条件面だけでなく、活動内容そのもの見直しが必要であると感じており、その一環として議会だよりの質の向上にも取り組んでいます。(楠 記)